

# 臨床検査に関するお知らせ



株式会社セントラル医学検査研究所

TEL(本社)029-225-8858 (下館)0296-28-5900

先生各位

2021年2月

A-21-01

## 新規実施項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

下記検査項目におきまして、日本国内では JSCC 法 (JSCC : 日本臨床化学会) が用いられて参りましたが、国際的には臨床・学術の両面で広く評価されている IFCC 法 (IFCC : 国際臨床化学連合) が採用されています。

今般、日本臨床化学会 (JSCC) からは 2020 年 4 月 1 日より準備の整った施設から IFCC 法へ変更し、2021 年 3 月末までには IFCC 法への移行を目指す旨の基本方針が発表されています。

弊社では ALP と LD につきまして、JSCC 法の検査を受託しておりますが、2021 年 4 月 1 日以降、IFCC 法へ検査法を変更致します。

何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 実施日 **2021年4月1日(木)** ご依頼分より

◆ 新規項目

項目コード	項目名
135	ALP (アルカリホスファターゼ) /IFCC
225	LD (乳酸デヒドロゲナーゼ) /IFCC

※尚、現行の ALP/JSCC 法 (項目コード : 130) と LD/JSCC 法 (項目コード : 220) は、2021 年 3 月 31 日 (水) 受付分をもちまして受託中止とさせていただきます。

<裏面に続く>

## ALP(アルカリホスファターゼ)

- ・測定値が現行 (JSCC 標準化対応法) の 1/3 程度の数値になります。
- ・変更前後の値の換算には限界があります。IFCC 法に変更することで血液型 B、O 型では小腸型 ALP を含む検体で低めになり、逆に妊婦では胎盤型 ALP が増加することにより高めに測定されます。

## LD(乳酸デヒドロゲナーゼ)

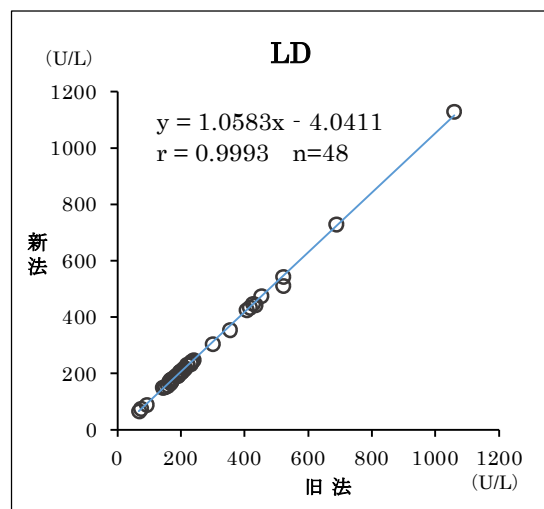
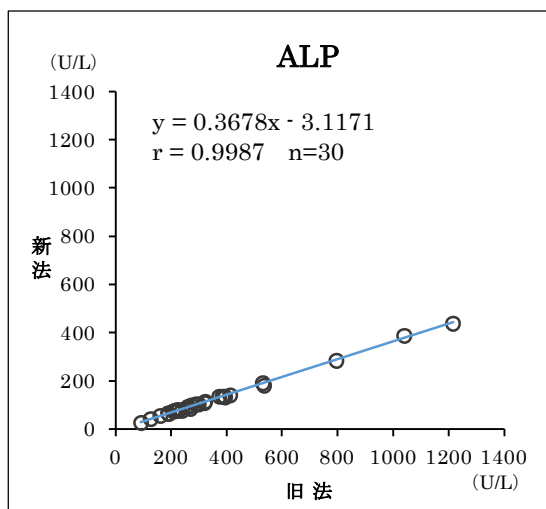
- ・国内での使用されている LD 測定法 (JSCC 法) は、アイソザイムの LD5 が相対的に高く測定されますが、IFCC 法では LD1 と LD5 がほぼ同等に測定されます。

### ◆検査要項

	ALP		LD	
	新	旧	新	旧
項目コード	135	130	225	220
検査項目名	ALP/IFCC	ALP	LD(LDH)/IFCC	LD(LDH)
検査方法	IFCC 標準化対応法	JSCC 標準化対応法	IFCC 標準化対応法	JSCC 標準化対応法
検体量	血清 0.3mL	同左	血清 0.3mL	同左
容器	01	同左	01	同左
材料保存法	冷蔵	同左	冷蔵	同左
基準値	38 ~ 113 (U/L)	119 ~ 359 (U/L)	124 ~ 222 (U/L)	119 ~ 229 (U/L)
所要日数	2 日	同左	2 日	同左
報告範囲	2 未満～設定なし	3 未満～設定なし	5 未満～設定なし	3 未満～設定なし
報告桁数	整数	同左	整数	同左
実施料/判断料	11 点/144 点 (生化学的検査 (I))	同左	11 点/144 点 (生化学的検査 (I))	同左
緊急報告値範囲	設定なし	同左	1000 U/L 以上	同左

### ◆新旧の相関

※社内検討データ



### ◆参考資料

一般社団法人日本臨床化学会「ALP、LD の測定方法の変更に関するご案内」